

Ⅱ. 総括編

II. 総括編

1. 目的

総合運転試験は、第6次NACCSの円滑な稼働開始を図るため、

- (1) 既存業務、第6次NACCSから追加となる新規業務の正常動作の確認
- (2) 自社システムの接続及び業務処理機能の確認
- (3) WebNACCSの業務確認
- (4) 利用者の習熟訓練
- (5) システム障害・被災時の運用確認

を行うことを目的として実施します。

総合運転試験は、第6次NACCSを円滑にご利用いただくための重要な試験ですので、利用者の方は必ずご参加いただくようお願いします。なお、記載しているフェーズⅠ、Ⅱ、Ⅲ及びⅣの期間・時間中以外においては、全ての第6次NACCS業務について実施しないようお願いします。

2. 対象者及び対象業務

(1) 対象者… 以下の利用者

- ・ 民間利用者（航空会社、航空貨物代理店、通関業、機用品業、混載業、保税蔵置場、損害保険会社、船会社、船舶代理店、CY、輸出入者、NVOCC、海貨業、バンプール、汎用申請利用者）
- ・ 関係行政機関（税関、関係省庁（入国管理局、経済産業省を除く））
 - ※ 関係省庁：厚生労働省（食品）、動物検疫所、植物防疫所、検疫所、厚生局、港湾管理者、港長、港内交通管制室、海上交通センター、保安部署、海事局、地方運輸局

(2) 対象業務… 別紙1「総合運転試験業務可否一覧」に定める第6次NACCS業務、関係省庁業務及び別紙2「管理資料一覧」

- ※ 貿易管理サブシステムのみ利用者はURY業務及びTCC業務のみ
- ※ 汎用申請のみ利用者はURY業務及びTCC業務のみ

(3) その他… 総合運転試験への参加は、特段申込は不要です。

3. 試験環境

フェーズごとに以下の環境で実施します。

- フェーズⅠ～Ⅲ 総合運転試験環境（メインセンター・バックアップセンター）
- フェーズⅣ 本番環境（メインセンター）

4. 試験区分及び試験内容

総合運転試験は試験目的別に次の4段階のフェーズに分けて、平成29年7月から10月初旬までの間に実施します。

なお、試験目的に記載されている「疑似データ」「過去データ」「移行データ」「生データ」の定義については、以下のとおりです。

- ・疑似データ

上流業務のデータがシステムに登録されていないと、後続が実施できない業務があるため、主要業務についてあらかじめNACCSセンターサーバに登録を行い、後続業務を入力可能とする事前データ（先行する業務データ）のこと。フェーズⅠ、Ⅱで使用します。

- ・過去データ

総合運転試験期間前に入出港した船舶、航空機に関する貨物などの過去の実績データのこと。自社システム内に保存されているデータや取得済みの帳票をもとに、NACCSセンターが依頼した利用者間で連携し、取り決めた運用を実施する主に導流確認（フェーズⅡ）で使用します。

- ・移行データ

第6次NACCS稼働後の運用実態に近い状況での業務運用確認を行うため、フェーズⅢ開始前の現行NACCSに登録されているデータを第6次NACCSに移行されたデータのことです。

- ・生データ

総合運転試験期間中に現行NACCSと同様の業務を第6次NACCSにおいて入力するデータのこと。主にフェーズⅢにおいて使用します。

区分	対象者	期間・時間	主な試験目的
フェーズ I	民間利用者	7月10日(月)～7月14日(金) : 5日間 24時間運転 (ただし、09:00～10:00は システム環境初期化のため、 実施不可) (7月10日(月)は10:00開始、 7月14日(金)は19:00終了)	① メインセンターへの接続確認 ② 疑似データによる習熟訓練 ③ 業務機能確認 ④ 管理資料情報の取出し確認
フェーズ II	民間利用者 税関 関係省庁	7月24日(月)～8月7日(月) : 15日間(土日含む) 24時間運転 (7月24日(月)は10:00開始、 8月7日(月)は19:00終了) 関係行政機関対応日: 7月31日(月) ～8月3日(木) 税関対応時間: 関係行政機関対応日の 各日11時～12時、 14時～15時 【一般申告対応】7月31日～8月1日 【自由化申告対応】8月2日～3日 ただし、以下日時は切替・切戻し・保守 運用試験対応のため、試験不可 7月28日(金) 12:00～12:40 7月31日(月) 03:00～4:00 8月4日(金) 02:30～05:00 8月7日(月) 10:30～10:35	① 疑似データによる習熟訓練 ② 業務機能確認、業務連動確認 ③ 過去データによる実運用に即した業務 運用確認(導流確認) ④ 管理資料情報の検証 ⑤ システム負荷試験 ⑥ 切替・切戻し運用確認(第1回目) ⑦ 保守日運用
フェーズ III	民間利用者 税関 関係省庁	8月28日(月)～9月11日(月) : 15日間(土日含む) 24時間運転 税関対応時間: 平日11時～12時、 14時～15時 (8月28日(月)は10:00開始、 9月11日(月)は19:00終了) ただし、以下の時間帯は切替・切戻し・ 保守運用試験対応のため、試験不可 9月3日(日) 02:30～05:00 9月6日(水) 12:00～12:40 9月10日(日) 03:00～04:00 9月11日(月) 10:30～11:10	① 移行データによる後続確認 ② 現行NACCSSに入力するデータと同 じデータ(生データ)による実運用に 即した業務運用確認 ③ 管理資料情報の検証(②に含む) ④ 保守日運用 ⑤ 切替・切戻し運用確認(第2回目) ⑥ 故障復旧運用の確認(オンライン再起動)
フェーズ IV	民間利用者	10月2日(月)～4日(水): 3日間 各日 10:00～19:00	民間利用者によるメインセンターへ TCC業務による接続確認(本番用パッケ ージソフトとの接続確認)

業種別フェーズ実施内容一覧

業種	フェーズⅠ 7月10日～14日	フェーズⅡ 7月24日～8月7日	フェーズⅢ 8月28日～9月11日	フェーズⅣ 10月2日～4日
航空会社	必須	必須	必須	必須
航空貨物代理店	・第6次NACCS パッケージソフト (総合運転試験版) インストール。 ・URY業務による パスワード変更。 ・TCC業務による 導通確認。	・ <u>自社の業種内で</u> 、 疑似データ及び過去 データによる業務の 習熟訓練。 ・ <u>税関、関係省庁と</u> の間の業務の習熟訓 練。 ※フェーズⅠの内容 の実施は可能。	・移行データ及び 生データによる <u>関係 会社と</u> 、データ連携を しての、業務の習熟訓 練。 ・ <u>税関、関係省庁と</u> の間の業務の習熟訓 練。 ※フェーズⅠの内容 の実施は可能。	・パッケージソフ トのバージョンア ップ。 ・TCC業務によ る導通確認。 ※フェーズⅠの内 容の実施は可能。
通関業 (自社通関含む)				
機用品業				
混載業				
保税蔵置場				
損害保険会社				
船会社				
船舶代理店				
CY				
NVOCC				
海貨業				
バンブール				
輸出入者(S/I、I /V、許可書取得等)				
汎用申請(船陸交通 許可申請等)				
輸出入者(貿易管理 サブシステム)				

5. 各種ID等

総合運転試験を実施するために必要となる「利用者ID(利用者コード(5桁)+識別番号(3桁))」「論理端末名」「端末アクセスキー」等は、原則、現行NACCSにてご利用いただいている値を引き継ぎますので、次期NACCSサポートシステム(以下「新NSS」という。)又は現行NSSにて契約内容を確認してください。

なお、自社システム利用者においては、第6次NACCS用の利用者パスワード等を記載した「各種ID等通知書」を5月下旬から6月中旬にかけて送付いたします。通知書の記載内容については下表のとおり利用形態によって異なりますので、通知書が届いた段階で内容を必ず確認してください。なお、本通知書にて通知したID等については、第6次NACCS稼働後も引き続き使用いただくこととなりますので、本通知書の管理・取扱いには十分注意願います。

(a) パッケージソフト又はWebNACCS利用者（詳細はNSSを参照）

i) netNACCS処理方式の場合

	項目	備考
1	利用者ID（利用者コード+識別番号）	現在netNACCSをご利用いただいている利用者IDと同じです。詳細はNSSにてご確認ください。
2	利用者パスワード	平成29年4月16日時点のパスワードを第6次NACCSの仮パスワードとして設定しています。
3	論理端末名	現在netNACCSをご利用いただいているパソコンを継続使用する場合には同じ値を設定してください。詳細はNSSにてご確認ください。
4	端末アクセスキー	
5	デジタル証明書取得用認証コード1	現在netNACCSをご利用いただいているパソコンを継続使用する場合には設定は不要です。
6	デジタル証明書取得用認証コード2	

ii) WebNACCS処理方式の場合

	項目	備考
1	利用者ID（利用者コード+識別番号）	現在netNACCSをご利用いただいている利用者IDと同じです。詳細はNSSにてご確認ください。
2	利用者パスワード	平成29年4月16日時点のnetNACCS利用者IDに紐づくパスワードを第6次NACCSの仮パスワードとして設定しています。
3	デジタル証明書取得用認証コード1	現在netNACCSをご利用いただいているパソコンを継続使用する場合には設定は不要です。
4	デジタル証明書取得用認証コード2	

iii) インタラクティブ処理方式の場合

	項目	備考
1	利用者ID (利用者コード+識別番号)	現在インタラクティブをご利用いただいている利用者IDと同じです。詳細はNSSにてご確認ください。
2	利用者パスワード	平成29年4月16日時点のパスワードを第6次NACCSの仮パスワードとして設定しています(利用者IDを自社システム(SMTP/POP3処理方式)と併用している利用者へは別途お知らせいたします。)
3	NACCS接続ルータのIPアドレス	現在インタラクティブをご利用いただいているパソコンを継続使用する場合には設定は不要です。詳細はNSSにてご確認ください(第6次NACCSでのみ利用する専用回線をお申込みの利用者へは別途お知らせいたします。)
4	インタラクティブ端末のIPアドレス	
5	サブネットマスク	
6	DNSサーバIPアドレス	第6次NACCS用DNSサーバIPアドレスを新NACCS掲示板に掲載いたしますので、必ず設定を行って下さい。 設定方法は付録「第6次NACCSパッケージソフトについて」を参照してください。
7	論理端末名	現在インタラクティブをご利用いただいているパソコンを継続使用する場合には同じ値を設定してください。 詳細はNSSにてご確認ください(第6次NACCSでのみ利用する専用回線をお申込みの利用者へは別途お知らせいたします。)
8	端末アクセスキー	詳細はNSSにてご確認ください(第6次NACCSでのみ利用する専用回線をお申込みの利用者へは別途お知らせいたします。)

(b) 自社システム利用者

i) SMTP/POP3処理方式の場合

	項目	備考
1	NACCS接続ルータのIPアドレス	接続試験実施時に設定していただいた値から変更が無い場合は、設定変更不要です。
2	利用者システムのIPアドレス	
3	サブネットマスク	
4	センター側 ping ポイントのIPアドレス	各種ID通知書とあわせてお知らせいたします。
5	ネットワーク側 ping ポイントのIPアドレス	
6	DNSサーバIPアドレス	
7	センター側メールアドレス	
8	利用者側メールアドレス	@以降が現行から変わります。各種ID通知書にてお知らせします。
9	利用者のメールボックスID (メールアカウント) (利用者側メールアドレスの@の前まで)	現在NACCSを利用しているメールボックスIDと同じです。
10	利用者側のメールボックスパスワード	現在NACCSを利用しているメールボックスパスワードと同じです (シングルサインオンメールボックスの方は別途お知らせします)。
11	利用者ID (利用者コード+識別番号)	現在自社システムにて利用している利用者IDと同じです (処理方式を変更する場合を除く)。
12	利用者パスワード	第6次NACCS用にNACCSセンターにて払出したパスワードを別途通知書としてお知らせします。

ii) S M T P 双方向処理方式の場合

	項目	備考
1	N A C C S 接続ルータの I P アドレス	接続試験実施時に設定していただいた値から変更が無い場合は、設定変更不要です。
2	利用者システムの I P アドレス	
3	サブネットマスク	
4	センター側 ping ポイントの I P アドレス	各種 I D 通知書とあわせてお知らせいたします。
5	ネットワーク側 ping ポイントの I P アドレス	
6	D N S サーバ I P アドレス	
7	センター側メールアドレス	
8	利用者側メールアドレス	第 6 次 N A C C S 用に新たに払出した分を各種 I D 通知書にてお知らせします。
9	仮想論理端末名	
10	利用者 I D (利用者コード+識別番号)	現在自社システムにて利用している利用者 I D と同じです (処理方式を変更する場合を除く)。
11	利用者パスワード	第 6 次 N A C C S 用に N A C C S センターにて払出したパスワードを別途通知書としてお知らせします。

iii) e b M S 処理方式の場合

	項目	備考
1	電子署名用ルート C A 証明書	接続試験開始前に送付した「本番用」ファイルを設定してください。
2	電子署名用証明書	
3	サーバ用ルート C A 証明書	
4	サーバ証明書	
5	C P A 設定ファイル	
6	センター側接続先	接続試験開始前に送付した接続先一覧で、本番用の接続先を設定してください。
7	論理端末名	現在 e b M S を利用している論理端末名と同じです。詳細は N S S にてご確認ください。
8	利用者 I D (利用者コード+識別番号)	現在 e b M S 処理方式を利用している利用者 I D と同じです。詳細は N S S にてご確認ください。
9	利用者パスワード	第 6 次 N A C C S 用に N A C C S センターにて払出したパスワードを別途通知書としてお知らせします。

6. パッケージソフトの配付

パッケージソフト利用者は、新NACCS掲示板のパッケージソフトページに第6次NACCSパッケージソフト（総合運転試験版）のインストーラを6月中旬に掲載いたしますので、総合運転試験開始前までにインストーラをダウンロードし、インストールしてください。

NACCSの利用形態	専用回線又はブロードバンド回線でNACCSを利用	インターネット回線でNACCSを利用
インストールするもの	・NACCSパッケージソフト 「 インタラクティブ処理方式 」※1	・NACCSパッケージソフト 「 netNACCS処理方式 」 ・ デジタル証明書インストールツール
配布場所	「 利用者用 」の 新NACCS掲示板 からインストーラをダウンロードしてください。 <注意> 「 CD-ROM等による郵送での配布は行いませんので、ご了承ください。 」 ダウンロードが遅い場合は、分割版をダウンロードいただくか、インターネット回線（netNACCS）の利用者用掲示板からUSBメモリ又は共有フォルダ等にダウンロードしていただき、社内で共有してください。	
配布時期	平成29年6月中旬よりダウンロードが可能	
インストール方法	付録「第6次パッケージソフトについて」を参照してください。 <注意> ① パッケージソフトをインストールする際は、必ず 管理者権限 (Administrator) で、インストールしてください。 ② デジタル証明書インストールツールをインストールする際は、必ず 管理者権限 (Administrator) で、インストールしてください。 その後、デジタル証明書を取得する際は、必ず 利用するユーザー権限 で、取得してください。※2	

※1：自社システムゲートウェイサーバ配下の利用者は、別途ゲートウェイサーバ配下用のバッチファイルにより「メール処理方式」をインストールします。

※2：既に、現行NACCS用にデジタル証明書を取得している場合は、再度の取得は不要です。

<注意1>

・第6次NACCSにおいて入力項目の変更、追加等を行っているため、現行NACCSパッケージソフトで作成した業務の外部ファイルは、第6次では利用できません。

総合運転試験期間中に改めて作成してください。

・現行NACCSパッケージソフトのオプション設定は第6次には引き継ぎませんので、

総合運転試験期間中に改めて設定してください。

・自社システムの利用者は、**第6次接続試験版のパッケージソフトは、アンインストールしてください。**

<注意 2>

第6次NACCSよりデジタル証明書の有効期限（取得日から1年間）を、デジタル証明書インストールツールで管理します。これにより、NACCSを起動しなくても有効期限の28日前に、更新を促すポップアップが出力されるようになります。インターネット回線でNACCSを利用する、**netNACCS**及び**WebNACCS**の方は、**必ず、『デジタル証明書インストールツール』をインストールしてください**（インストールしない場合は、利用者様で有効期限を別途管理する必要が生じます。）。

7. WebNACCSのログインページ

WebNACCSログインページは、新NACCS掲示板のトップページにバナーを設置いたしますので、事前にご確認ください（ログインページへのアクセスは7月10日10:00から可能となります。）。

8. 提供資料

総合運転試験を実施する際に必要となる次の資料について、新NACCS掲示板の総合運転試験情報ページに掲載いたします。

(1) 疑似データ

NACCS業務の中には、上流において他業種によってデータ（例えば、輸入におけるAWB情報、積荷目録情報）が登録されていないと業務処理ができないものがあります。このため、これらの業務のうち主要なものについて、あらかじめNACCSセンターにおいて事前に必要なデータ（=疑似データ）を作成のうえシステムに登録を行います。

利用者の皆様にはこの事前登録した疑似データの情報を業種毎に割り当ていたします。疑似データの情報（例えば、輸入におけるAWB番号、B/L番号）は新NACCS掲示板の総合運転試験情報ページに7月初旬に掲載いたします。

疑似データは、フェーズⅠ及びⅡにて利用が可能です。フェーズⅠでは毎日9～10時に初期化されます（利用前の状態に戻ります）。フェーズⅡは初期化されません。

(2) 業務シナリオ

業務習熟訓練及び業務機能確認を行う場合の業務シナリオを提供します。業務シナリオの一部を別紙3「業務シナリオ」に示します。全ての業務シナリオは新NACCS掲示板の総合運転試験情報ページに掲載いたします

9. 総合運転試験前における事前準備等

(1) パッケージソフトのインストール

パッケージソフト利用者は、第6次NACCSパッケージソフトを試験開始前にあらかじめ、現行NACCSを利用しているパソコン、又は第6次NACCSのみで使用する専用回線で利用するパソコンにインストールするようお願いいたします。インストール手順等については、付録「第6次NACCSパッケージソフトについて」を参照してください（現行NACCS用パッケージソフトへの影響はなく、共存が可能です）。

パッケージソフトが正常にインストールされた場合は、デスクトップ上に「NACCS

パッケージソフトv6〇〇方式」「NACCS掲示板v6」の2種類のアイコンが表示されますので確認してください。総合運転試験版パッケージソフトはメニューバーが黄色で、下部ステータスバーに「総合運転試験用」の表示があります。

(2) デジタル証明書インストールツールのインストール (netNACCS利用者・WebNACCS利用者)

netNACCS及びWebNACCS利用者は、デジタル証明書インストールツールを試験開始前にあらかじめ、利用するパソコンにインストールするようお願いいたします。インストール手順等については、付録「第6次NACCSパッケージソフトについて」を参照してください。

(3) デジタル証明書 (netNACCS利用者・WebNACCS利用者)

現行NACCSを利用しているデジタル証明書を引き続き第6次NACCSでも利用が可能ですので、改めて取得する必要はありません。

(4) 各種ID、IPアドレス等の設定

前述5.の各種ID、IPアドレス等の情報について、あらかじめパソコン、自社システム等に設定するようお願いいたします。

① パッケージソフト利用者 (netNACCS端末又はインタラクティブ端末)

(a) 現行NACCSを利用している端末を利用する場合

現行NACCSにて設定している論理端末名、端末アクセスキーと同じ値を設定ください。インタラクティブ端末のネットワーク設定でのDNSサーバは第6次NACCS用DNSサーバIPアドレスを設定してください。設定方法は、付録「次期(第6次)NACCSパッケージソフトについて」を参照してください。

(b) 第6次NACCSのみで使用する専用回線のインタラクティブ端末を利用する場合

別途、送付しますIPアドレス等端末通知書に記載のIPアドレス、論理端末名、端末アクセスキー等を設定してください。設定方法は、付録「第6次NACCSパッケージソフトについて」を参照してください。

② 自社システム利用者

前述5.(b)で送付する「各種ID等通知書」にて設定を行ってください。通知書がお手元に届いた時点で内容を確認してください。

(5) 業務仕様書等の確認

総合運転試験の実施の際には、必要に応じて以下の業務仕様書等を確認していただくことがありますので、あらかじめ掲載場所、掲載内容等を確認してください。

- ・ 第6次NACCS業務仕様書：新NACCS掲示板に掲載
- ・ 電算関係税関業務事務処理要領(暫定版)：新NACCS掲示板に掲載
- ・ 業務用入力コード(国連LOCODE等)：新NACCS掲示板に掲載

(6) その他

総合運転試験における各業務で入力する自社データ等の各種データについては、あらかじめ利用者側でご準備いただくようお願いいたします。なお、総合運転試験用第6次NACCS用パッケージソフトを利用して事前に入力用データを作成し、ハードディスク等に保存しておくこともできます。

10. 第6次NACCS用パスワードへの変更について

パッケージソフト利用者及びWebNACCS利用者においては、平成29年4月16日時点の現行NACCSのパスワード（4月16日以降に利用開始した利用者IDについては利用開始時点のパスワード）が総合運転試験開始時の仮パスワードで設定されています。

仮パスワードは、**「利用者情報登録（URY／URY0W）」業務にて、第6次NACCS用パスワードに変更していただくまで、他業務を実施する事ができません。**

なお、netNACCS側でパスワード変更をした場合は、WebNACCS側で改めてパスワード変更をする必要はありません。

総合運転試験環境にてURY業務で変更した第6次NACCS用パスワードは、各フェーズでも引き継がれ、更改後の第6次NACCSでもご利用いただけますので、**お忘れにならないようご注意ください。**

自社システム利用の利用者IDに紐づく第6次NACCS用パスワードは、NACCSセンターにてシステムに設定をしているため、パスワードの変更は不要です。別途、通知したID通知書等をご確認ください。現行NACCSでURY業務を行っても、総合運転試験環境には反映されませんのでご注意ください。

総合運転試験と第6次NACCSにおけるログインパスワードについては、次ページを参照ください。

総合運転試験開始時におけるログインパスワードの変更について

パッケージソフト、WebNACCS利用者



- ※ 1 : 4/16以降に現行NACCSでURY業務を実施した場合、変更後のパスワードは総合運転試験には反映されませんのでご注意ください。
- ※ 2 : 総合運転試験に参加しなかった場合は、第6次NACCS稼働 (10/8) 後にURYでパスワード変更を実施する必要があります。
- ※ 3 : WebNACCS (netNACCS) で変更したパスワードは、netNACCS (WebNACCS) 側でも変更されています。



総合運転試験開始時におけるログインパスワードの変更について

自社システム利用者



- ※ 6月中旬に対象事業所のシステム管理者宛に利用者IDとパスワードを郵送します。



第6次NACCSでは、「利用者情報登録（URY／URY0W）業務について、既存のパスワードの変更機能に加え、初期化機能（取消機能を含む）を追加いたします。このため、入力項目等が以下のとおり変更となります。

1. 入力項目

区分	項目名	概要
新規	処理区分コード	以下の処理区分コードを入力する。 C：パスワード変更 I：パスワード初期化 X：パスワード初期化取消
変更	利用者ID	変更、初期化、初期化取消を行う利用者IDを入力する。 ①処理区分コード「C」の場合は、入力者のIDを入力する。 ②処理区分コード「I」及び「X」の場合は、入力者と同一の利用者コードで、識別番号が異なる利用者IDを入力する。
変更	利用者パスワード	パスワードの変更を行う場合、変更後のパスワードを入力する。 ① 6桁から8桁の範囲の文字列 ② 半角英大文字（AからZ）及び半角数字（0から9）で、それぞれ必ず1文字以上含める。処理区分コード「I」及び「X」の場合は、入力不可。
新規	利用者パスワード（確認）	確認用のパスワードを入力する。 ①利用者パスワードと同一であること ②処理区分コード「I」及び「X」の場合は、入力不可

(参考1) URY入力画面

URY 利用者情報登録
ファイル(F) 表示(V)

処理区分* (C:変更 I:初期化 X:初期化取消)

利用者ID*

利用者パスワード

利用者パスワード(確認)

(参考2) 利用者パスワード初期化情報（パッケージソフト）

利用者パスワード初期化情報

仮パスワード XXXXXXXX

利用者パスワードの初期化が完了しました。
パスワードが初期化された利用者IDは、URY業務でパスワードを変更するまで、URY業務を除くすべての業務が実施できませんご注意ください。

CALXXX-L-1

2. 出力情報

区分	情報名	概要
新規	利用者パスワード初期化情報	パスワード初期化の場合に帳票を出力
変更	利用者情報登録完了情報（WebNACCSのみ）	パスワード初期化、初期化取消、変更した場合に出力

URY業務によるパスワード変更の入力例

(参考1) URY入力画面-パスワード変更入力例（パッケージソフト）

「C」（初期値のまま）

処理区分* (C:変更 I:初期化 X:初期化取消)

利用者ID* 「1ANACA0A」を入力

利用者パスワード 「ABCDE123」を入力 (画面上は「*****」)

利用者パスワード(確認) 「ABCDE123」を入力 (画面上は「*****」)

全ての項目を入力後送信(F12)ボタンを押下

(参考2) URY0W入力画面-パスワード変更入力例（WebNACCS）

WebNACCS 利用者ID | 1ANACA0A ログイン時間 | 2017/10/01 08:30 残時間 | 01:00 ログアウト

利用者情報登録(URY0W)

利用者情報登録

利用者情報

処理区分* 「C:パスワード変更」（初期値のまま） 「1ANACA0A」を入力

利用者ID*

利用者パスワード 「ABCDE123」を入力 (画面上は「●●●●●●」)

利用者パスワード(確認) 「ABCDE123」を入力 (画面上は「●●●●●●」)

全ての項目を入力後当該ボタンを押下

送信

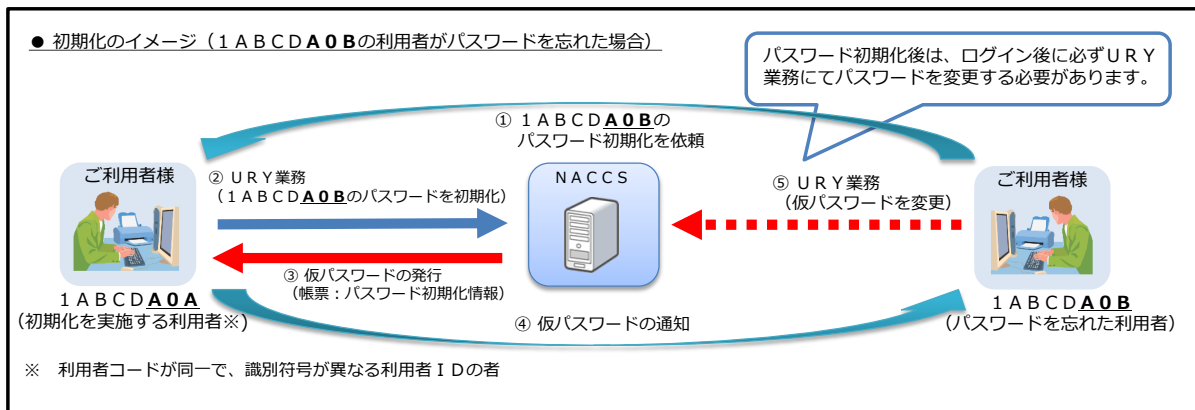
「送信」ボタン押下後

①パスワード変更が完了しました。
利用者ID: 1ANACA0A

総合運転試験開始時や総合運転試験期間中にパスワードを失念した場合は、一旦、パスワードを初期化のうえ、パスワードの再設定を行っていただくことにより新パスワードでの利用が可能となります。

下図のように、利用者コードが同一「1ABCD」で識別番号が異なる（「A0A」と「A0B」）利用者IDを複数利用している場合を例にとると、「1ABCD A0B」の利用者がパスワードを忘れた場合は、「1ABCD A0A」の利用者が「1ABCD A0B」のパスワードの初期化を行うことによって、「1ABCD A0B」の利用者がパスワードの再設定を行うことが可能となります。

なお、利用者IDが1つしかない場合又は自社システム用IDのみ所有の場合は、本機能の利用が出来ませんので、NACC S 掲示板にある総合運転試験の問合せフォームにより問合せいただくか、又は「jiki-rt@naccs.jp」にご連絡ください。



11. 業務処理等の正常処理の確認

総合運転試験では、各種オンライン業務の正常な送受信及び管理資料情報の確認を行っていただきます。それぞれ以下の点を確認することにより正常処理が行われた否か確認していただくこととなります。

(1) 各種オンライン業務の送受信処理

各種オンライン業務の送受信処理を行った場合における正常処理の確認は、入力者が業務入力のうえ処理要求電文を送信し、対応する処理結果電文が正常に受信できることを確認することにより行っていただくこととなります。

【具体的な確認方法】

処理要求電文の内容が正常処理されたか否かについては、NACCSから送信される「処理結果電文の処理結果コード」により確認してください。受信した処理結果コードが、次のとおりであれば、正常に終了したこととなります。

自社システムの場合 : 「0000-0000-0000」
パッケージソフトの場合 : 「COMPLETION」
WebNACCSの場合 : エラーが出ていないこと

なお、異常処理がある場合には、上記コードとは異なるエラーコードが返信されますので、当該エラーコードの内容を確認の上、訂正等の処理を行ったうえで、再度送信を行ってください。なお、エラーコードには「業務エラーコード」と「共通エラーコード」がありますが、それぞれ以下のような内容となっています。

① 共通エラー（システムメッセージ）について

このエラーコードは、利用者コード、識別番号、利用者パスワード等に誤りがあった場合に出力されるエラーコードであり、エラーコードの体系は

「Axxxx-0000-xxxx」

となります。

② 業務エラーについて

NACCSのサーバ内等で処理が行われた結果、入力した項目に誤り等があった場合に出力されるエラーコードであり、エラーコードの体系は、

自社システムの場合、

「Uxxxx-xxxx-xxxx」、 「Sxxxx-xxxx-xxxx」、 「Rxxxx-xxxx-xxxx」、
「Exxxx-xxxx-xxxx」、 「Mxxxx-xxxx-xxxx」、 「Lxxxx-xxxx-xxxx」

パッケージソフト及びWebNACCSの場合、

「Uxxxx」、 「Sxxxx」、 「Rxxxx」、 「Exxxx」、 「Mxxxx」、 「Lxxxx」
のいずれかとなります。

(注1) 上記①のエラーコードの内容は新NACCS揭示板上に掲載しているEDI仕様書「付録6 各種コード」を参照してください。②のエラーコードの内容については、新NACCS揭示板上に掲載している「業務エラーメッセージ」を参照してください。なお、パッケージソフトを利用している場合には、当該パッケージソフトの「ヘルプ」を開き「業務メッセージ」を選択いただければエラーコードの内容を確認することも可能となっています。なお、WebNACCSではエラーコードと併せてエラー内容が出力されています。

(注2) NACCSでは、原則としてエラーを検出した段階で処理を終了し、エラー内容を示すエラーコードを1個出力します。ただし、単項目チェック(※)によるエラー(処理結果コード：自社システム→「Sxxxx-xxxx-xxxx」、パッケージソフト→「Sxxxx」)については、エラー検出が5回になるまでエラーチェック処理を行いますので、最大5個のエラーコードが出力されます。

※ 単項目チェックとは、入力された個々の項目について、業務仕様書に定められている「桁数」「文字属性」等の入力条件を満たしているかチェックすることをいいます。

(注3) エラーメッセージの内容を確認しただけでは対処方法が判らない場合、適宜NACCSセンターにお問い合わせください(「16. 総合運転試験に関する問い合わせ先」を参照してください)。なお、お問い合わせの際には当該エラーコードもあわせてお伝えください。

(2) 管理資料情報の確認

フェーズⅠではNACCSセンターが総合運転試験用にあらかじめ準備した管理資料、フェーズⅡ及びⅢでは総合運転試験中に利用者が実際に入力した各種業務に基づき作成する管理資料の2種類について取り扱うこととなります。いずれの管理資料も正常に取り出し等が行えるか確認してください。また、利用者の入力に基づき作成する管理資料については、正しい数値となっているか等の確認もあわせて実施してください。

12. 異常時の対処

エラーメッセージ等に基づき正しい入力を行ったにも係らず業務が正常終了しない、又は、業務処理の結果が業務仕様書と異なる場合等、通常の処理が行われなかった場合は、速やかに「16. 総合運転試験に関する問い合わせ先」をご参照のうえご連絡をお願いします。なお、業務処理以外に回線障害等を含む接続通信エラーが生じた場合もご連絡をお願いします。

問い合わせの際には、

- ・利用者ID
- ・業務を行った送信日時
- ・処理結果コード
- ・貨物管理番号・AWB番号、申告番号等の詳細が分かる各種番号
- ・業務画面のコピー
- ・その他参考となる情報等

これらの提出をお願いすることがありますので、あらかじめご用意いただくようお願いします。

13. パッケージソフトのバージョンアップ

パッケージソフト利用者（インタラクティブ、netNACCS、GW配下用メール処理）は、フェーズⅢ終了後、フェーズⅣ実施前までの間に、インストール済みのパッケージソフトのバージョンアップ処理を必ず実施してください。バージョンアップを実施いただくことにより、総合運転試験版から第6次NACCS本番用になります。本番用パッケージソフトはメニューバーが灰色で、下部ステータスバーに「本番用」の表示があります。

14. 留意事項

（1）登録内容

総合運転試験環境にて登録した情報は、現行NACCSへは反映されませんのでご注意ください。

（2）出力帳票

① 総合運転試験環境において、業務処理の結果出力される情報（帳票）は法的効力を有しません。

② 総合運転試験環境において業務処理の結果出力される情報（帳票）について、受信した内容が業務仕様書で定めるフォーマット（帳票レイアウト）のとおり正常に印字されているか確認してください。帳票レイアウトは、新NACCS掲示板に掲載している「業務仕様書」中に記載されていますので、そちらをご覧ください。

なお、パッケージソフト利用者の場合、「輸入申告控」、「輸出申告控」、「保税運送申告控」、「蔵入・移入・総保入承認通知書（保税運送承認通知兼用）（到着証明用）」及び「内国貨物運送申告控」等の出力帳票については、総合運転試験用であることを明確にするため、帳票上に「TEST」のすかし文字をあわせて印字します。

③ 総合運転試験期間中に出力される「輸入申告控」、「輸出申告控」、「保税運送申告控」、「蔵入・移入・総保入承認通知書（保税運送承認通知兼用）（到着証明用）」及び「内国貨物運送申告控」等の帳票については、税関へ提出する必要はありません。

なお、自社システムで輸出入許可書等を作成する場合には、税関において検証を行いますので、東京税関総務部総括システム企画調整官（連絡先は別途お知らせします）にご連絡をお願いします。

（3）納付書（通関業者のみ対象）

総合運転試験にて輸入申告等を行った際に使用するための納付書は、白紙又は現行利用の納付書用紙を利用し印字位置の確認等を行ってください。なお、パッケージソフトから印刷した際には、総合運転試験用であることを明確にするため、帳票上に「TEST」のすかし文字があわせて印字されます。

(4) 申告後訂正等の取扱い

総合運転試験において、申告後又は許可後の訂正については、税関の事前了解を必要としない取り扱いとします。

(5) 輸入申告時における納付方法の制限

総合運転試験では、輸入申告等に係る納付方法として輸入許可等まで受けたい場合は、ダミー担保等を使用した納期限延長にて行ってください。

「リアルタイム口座振替方式（ダイレクト方式）」及び「MPN利用納付」については、原則対象外としますのでご注意ください。ただし、ダミーのリアルタイム口座を利用しフェーズⅡの行政機関対応日（7月31日～8月3日）及びフェーズⅢの指定日（8月29日～8月31日）の各日0:00から14:00までに行った輸入申告等において、各日17:00までに疑似的に納付する税関業務処理を行います（処理は1日1回となるため即時性はありません）。

(6) 空港入出港の登録情報について

総合運転試験期間中、現行NACCSにて、航空通信情報（SITA回線又はARINC回線）を利用して報告された乗組員氏名表報告、旅客氏名表報告、旅客予約記録情報報告の情報は、自動的に総合運転試験環境へも登録されますのでご注意ください。

15. システム設定情報の変更について

第6次NACCSのシステム設定情報は、原則、現行NACCSの設定情報を引き継ぎます。なお、現行NACCSにてU業務（URY業務を除く）で設定変更を行った内容を、総合運転試験環境へ反映します。フェーズⅠ～Ⅲ各開始時点と、フェーズⅠ～Ⅲ実施期間中は翌営業日の午前中までに反映します。反映時期のタイミングは次ページをご参照ください。

総合運転試験において業務処理を行った結果、宛先管理等のシステム設定情報について変更が必要と判断した場合は、「16. 総合運転試験に関する問い合わせ先」のシステム企画部 次期システム設定担当までEメール又はFAXにてご連絡ください。

また、現行NACCSにおいてU業務にて設定変更ができない内容についても、システム企画部 次期システム設定担当までご連絡ください。

※ 自社システムのSMTP双方向利用者のうち、第6次NACCS用の論理端末名を使用する利用者においては事前にNACCSセンターより宛先管理設定の確認を行い、フェーズⅠ開始時に設定を行います。

(1) フェーズⅠに合わせて設定変更を行う場合

フェーズⅠ開始時にシステム設定情報の変更を希望される場合は、7月5日（水）までに現行NACCSにてU業務にて設定変更を行ってください。設定変更した内容を、フェーズⅠ実施の際に反映させていただきます。

(2) フェーズⅡに合わせて設定変更を行う場合

フェーズⅡ開始時にシステム設定情報の変更を希望される場合は、7月19日（水）までに現行NACCSにてU業務にて設定変更を行ってください。設定変更した内容を、フェ

ーズⅡ実施の際に反映させていただきます。

(3) フェーズⅢに合わせて設定変更を行う場合

フェーズⅢ開始時にシステム設定情報の変更を希望される場合は、8月23日(水)までに現行NACCSにてU業務で設定変更を行ってください。設定変更した内容を、フェーズⅢ実施の際に反映させていただきます。

(4) 第6次NACCS稼働時に合わせて設定変更を行う場合

フェーズⅢ終了時のシステム設定情報を原則、第6次NACCS稼働時に反映します。フェーズⅢまでの試験状況を踏まえ、システム設定情報の変更を希望される場合は、9月22日(金)までにシステム企画部 次期システム設定担当へご連絡ください。

(5) 現行NACCSのU業務停止について

現行NACCSでのU業務については、9月12日(火)23:00をもって停止させていただきます。

現行NACCSにおけるU業務の第6次NACCSへの反映時期について

現行NACCSで実施したU業務は以下のタイミングで総合運転試験環境へ反映します。

- ① 各フェーズ期間前の場合は各フェーズ初日に反映します。
(例：7月5日までに現行NACCSで実施したU業務は、7月10日のフェーズⅠに総合運転試験環境へ反映)
※フェーズⅠは7月5日までに、フェーズⅢは8月23日までに現行NACCSでU業務を実施した設定が反映されます。
- ② 各フェーズ期間中の場合は翌日午前中に反映します。
(例：7月10日に現行NACCSで実施したU業務は7月11日の午前中に総合運転試験環境へ反映)
- ③ 9月13日から9月22日の間に第6次NACCS用のU業務設定を変更したい場合は、書面をNACCSセンター宛てにメールにて送付ください。

例) 「EXC型電文宛先管理登録(UOC)」業務

